平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月29日

上場会社名　日本精化株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　4362　URL　http://www.nipponseika.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役執行役員社長　(氏名) 矢野 進
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長兼経理部長　(氏名) 深瀬 真一　TEL 06-6231-4781

四半期報告書提出予定日　平成25年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	17,499	△6.9	1,251	22.5	1,457	25.9	900	33.2
24年3月期第3四半期	18,791	2.6	1,021	△12.9	1,157	△9.2	675	△11.8

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　1,002百万円　(103.6%)　24年3月期第3四半期　492百万円　(△6.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	37.90	―
24年3月期第3四半期	28.45	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	32,187	24,823	75.4
24年3月期	31,358	24,329	76.1

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　24,274百万円　24年3月期　23,866百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	11.00	―	11.00	22.00
25年3月期	―	10.00	―		
25年3月期(予想)				10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	△5.8	1,500	13.1	1,650	7.6	1,000	13.2	42.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	25,372,447 株	24年3月期	25,372,447 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,622,446 株	24年3月期	1,622,117 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	23,750,238 株	24年3月期3Q	23,750,552 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益及び包括利益計算書 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要などから国内需要が底堅さを維持し、景気回復へ向かうことが期待されるものの、世界経済を巡る不確実性は引続き大きく、このところ一段と弱い動きとなっております。また、電力供給の制約やデフレの影響など、依然として先行きは不透明な状況で推移してまいりました。

このような事業環境のなかで、当社グループは新製品上市による競争力の強化、新規テーマの獲得とその拡販に努めてまいりましたが、工業用製品事業において、植物性油脂の販売が減少したことなどにより売上高が減少いたしました。一方、家庭用製品事業においては、たな卸資産の評価下げを実施した前年同四半期に比べ、利益が増加いたしました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は174億９千９百万円（前年同四半期比6.9%減）と減収となりました。一方、利益面では営業利益12億５千１百万円（同22.5%増）、経常利益14億５千７百万円（同25.9%増）となり、四半期純利益でも９億円（同33.2%増）と増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①　工業用製品事業

当セグメントにおきましては、植物性油脂の販売が減少したことなどにより売上高は減少いたしましたが、医薬用プレソームの出荷など、製品構成の良化により利益は増加いたしました。この結果、売上高は125億８千１百万円（前年同四半期比5.6%減）、セグメント利益（営業利益）は８億３千２百万円（同6.5%増）となりました。

②　家庭用製品事業

当セグメントにおきましては、売上高はほぼ横ばいとなりましたが、たな卸資産の評価下げを実施した前年同四半期に比べ、利益は増加いたしました。この結果、売上高は40億５千８百万円（前年同四半期比0.4%増）、セグメント利益（営業利益）は３億２千４百万円（同206.8%増）となりました。

③　不動産事業

当セグメントにおきましては、マンション分譲事業における完成済物件の販売減により売上高は減少いたしましたが、それに伴う販売費が減少したため利益は改善いたしました。この結果、売上高は３億６千７百万円(前年同四半期比56.1%減)、セグメント利益（営業利益）は７千３百万円（同14.1%増）となりました。

④　その他の事業

当セグメントにおきましては、医薬品業界からの薬理・安全性試験の受託減により、売上高・利益ともに減少いたしました。この結果、売上高は４億９千２百万円（前年同四半期比15.1%減）、セグメント利益（営業利益）は２千万円（同70.0%減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度（以下「前期」という。）比８億２千８百万円増加し、321億８千７百万円となりました。これは主として、仕掛品の増加などにより流動資産が２億８千万円増加し、機械装置及び運搬具の増加などにより固定資産が５億４千８百万円増加したことによるものであります。

当第３四半期連結会計期間の負債は、前期比３億３千４百万円増加し、73億６千３百万円となりました。これは主として、繰延税金負債の減少などにより固定負債が３千４百万円減少する一方で、設備関係未払金の増加などにより流動負債が３億６千８百万円増加したことによるものであります。

当第３四半期連結会計期間の純資産は、前期比４億９千４百万円増加し、248億２千３百万円となりました。これは主として、四半期純利益の計上９億円及び配当金の支払い４億９千８百万円などにより株主資本が４億円増加し、少数株主持分が８千６百万円増加したことなどによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

第３四半期連結累計期間における業績推移に鑑み、平成24年10月30日公表の業績予想を修正いたしました。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ42,943千円増加しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,353,400	4,013,558
受取手形及び売掛金	6,541,579	6,226,283
商品及び製品	1,807,168	1,981,218
販売用不動産	128,438	90,350
仕掛品	1,150,710	1,687,977
仕掛販売用不動産	154,190	81,947
原材料及び貯蔵品	1,616,500	2,040,393
繰延税金資産	163,421	115,200
その他	474,195	433,277
貸倒引当金	△10,282	△10,410
流動資産合計	16,379,323	16,659,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,477,082	3,912,086
機械装置及び運搬具（純額）	1,017,539	2,353,406
土地	3,906,943	3,906,943
建設仮勘定	1,073,463	7,150
その他（純額）	309,500	294,719
有形固定資産合計	9,784,529	10,474,305
無形固定資産	400,039	378,589
投資その他の資産		
投資有価証券	4,324,185	4,164,993
その他	470,474	509,710
投資その他の資産合計	4,794,660	4,674,704
固定資産合計	14,979,229	15,527,599
資産合計	31,358,553	32,187,396

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,490,959	3,560,248
未払金	483,214	414,392
未払法人税等	271,277	216,590
繰延税金負債	959	7,147
賞与引当金	330,513	210,918
役員賞与引当金	32,573	23,308
設備関係未払金	944,826	1,382,006
その他	423,800	532,506
流動負債合計	5,978,125	6,347,118
固定負債		
繰延税金負債	312,535	297,541
退職給付引当金	548,788	536,021
長期未払金	45,173	45,173
長期預り保証金	94,517	94,794
資産除去債務	26,230	26,230
その他	23,652	16,703
固定負債合計	1,050,896	1,016,463
負債合計	7,029,021	7,363,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,933,221	5,933,221
資本剰余金	6,803,362	6,803,362
利益剰余金	11,700,308	12,100,827
自己株式	△1,021,903	△1,022,086
株主資本合計	23,414,990	23,815,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	582,365	500,308
繰延ヘッジ損益	5,309	9,738
為替換算調整勘定	△135,929	△50,378
その他の包括利益累計額合計	451,746	459,669
少数株主持分	462,795	548,819
純資産合計	24,329,531	24,823,814
負債純資産合計	31,358,553	32,187,396

（２）四半期連結損益及び包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	18,791,688	17,499,883
売上原価	14,733,256	13,379,067
売上総利益	4,058,431	4,120,816
販売費及び一般管理費	3,036,664	2,869,326
営業利益	1,021,767	1,251,489
営業外収益		
受取利息	42,992	50,264
受取配当金	105,563	106,697
為替差益	－	28,335
雑収入	33,767	26,090
営業外収益合計	182,324	211,388
営業外費用		
支払利息	2,851	3,620
為替差損	42,272	－
雑損失	1,523	1,841
営業外費用合計	46,647	5,462
経常利益	1,157,443	1,457,415
特別利益		
固定資産売却益	58,483	100
移転補償金	126,562	－
特別利益合計	185,046	100
特別損失		
固定資産売却損	－	13
固定資産除却損	123,580	2,687
ゴルフ会員権評価損	2,375	－
工場移転費用	69,526	－
特別損失合計	195,482	2,700
税金等調整前四半期純利益	1,147,008	1,454,815
法人税、住民税及び事業税	240,401	399,929
法人税等調整額	193,567	82,734
法人税等合計	433,969	482,664
少数株主損益調整前四半期純利益	713,038	972,151
少数株主利益	37,301	72,011
四半期純利益	675,737	900,139
少数株主利益	37,301	72,011
少数株主損益調整前四半期純利益	713,038	972,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△151,542	△82,056
繰延ヘッジ損益	△10,527	4,926
為替換算調整勘定	△58,313	107,890
その他の包括利益合計	△220,384	30,760
四半期包括利益	492,654	1,002,911
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	468,463	908,062
少数株主に係る四半期包括利益	24,190	94,849

（３）継続企業の前提に関する注記

当第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(注)
	工業用製品事業	家庭用製品事業	不動産事業	その他の事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,331,543	4,041,997	838,270	579,876	18,791,688	－	18,791,688
セグメント間の内部売上高又は振替高	109,080	46,728	23,536	800	180,145	△180,145	－
計	13,440,623	4,088,726	861,806	580,676	18,971,833	△180,145	18,791,688
セグメント利益	782,081	105,767	64,229	69,689	1,021,767	－	1,021,767

（注）　セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(注)
	工業用製品事業	家庭用製品事業	不動産事業	その他の事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,581,417	4,058,096	367,771	492,598	17,499,883	－	17,499,883
セグメント間の内部売上高又は振替高	100,590	37,157	23,160	400	161,309	△161,309	－
計	12,682,007	4,095,253	390,932	492,998	17,661,192	△161,309	17,499,883
セグメント利益	832,760	324,499	73,296	20,933	1,251,489	－	1,251,489

（注）　セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の工業用製品事業のセグメント利益が40,847千円増加し、家庭用製品事業のセグメント利益が441千円増加し、不動産事業のセグメント利益が19千円増加し、その他の事業のセグメント利益が1,634千円増加しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

該当事項はありません。